



自治会・町内会は、まちと人を守っています



地域の輪を広げましょう！

子どもやお年寄りの見守り、災害時の助け合いなど、くらしの中の「不安」を「安心」に変える人と人とのつながりが、「地域コミュニティ」です。京都市では、「地域コミュニティ活性化推進条例」を制定して、自治会・町内会を中心とする地域コミュニティを応援しています。

平成28年度 自治会・町内会アンケート結果のお知らせ

京都市では、昨年秋、市内の自治会長、町内会長の皆様を対象にアンケート調査を行い、多くの皆様からご回答いただきました。（配布件数 6,580件、回答数 2,969件、回答率45.1%）ご協力いただきました自治会長・町内会長の皆様に厚く御礼申し上げます。

アンケート結果をもとに、地域コミュニティ活性化に向けて自治会・町内会の取組や現状を把握するとともに、

- ・日頃から行われている地域の取組が、「地域力（※）」にどのような影響を与えるか、
 - ・「地域力」が「住みやすさ」にどのような影響を与えるか

※本アンケートでは、地域力を「住民同士のかかわり合い」と定義しています。

実施にあたっては、立木茂雄地域コミュニティ活性化推進審議会会長（同志社大学社会学部教授）に監修いただくとともに、集計結果の分析をしていただきました。

地域ぐるみで熱心に地域活動に取り組んでいる地域は、地域力（住民同士のかかわり合い）が高いことが分かりました

アンケート 結果を分析 しました

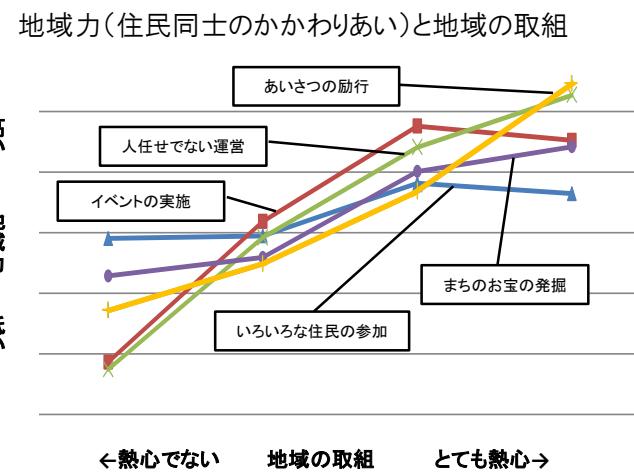
地域力を高めるためには・・・

次の取組<5つのカラ>がポイント！

- ◆あいさつの励行
- ◆多くのいろいろな住民の参加
- ◆地域イベントの実施
- ◆地域組織の人任せでない運営
- ◆まちのお宝の発掘
(地域への興味・愛着の喚起)



地域ぐるみの取組が、人と人のつながりをつくるきっかけとなります。



次ページにつきましては、**地域力**（住民同士のかかわり合い）が「住みやすさ」に与える効果について分析しています。

アンケート
結果を分析
しました

地域力を高めると・・・

住みやすい地域になります！！



「地域力」が高いと、子育てがしやすく、高齢者が住みやすいと感じておられることがわかりました。

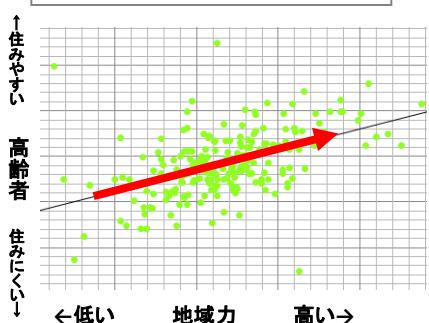
また、地域力が高いと、街頭犯罪の発生（※）が少ない傾向があります。

※犯罪統計出典：京都府警察

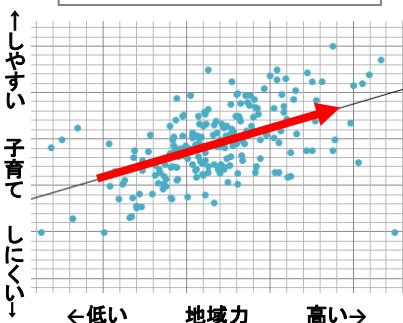


注)アンケート結果を学区・元学区単位で集計した数値を「点」で、分析結果を赤・黒色の「矢印」で図に表しています。

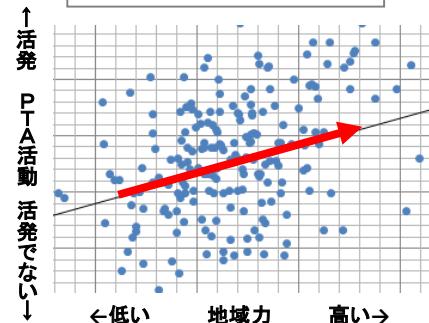
地域力が高いほど、
高齢者が住みやすくなる



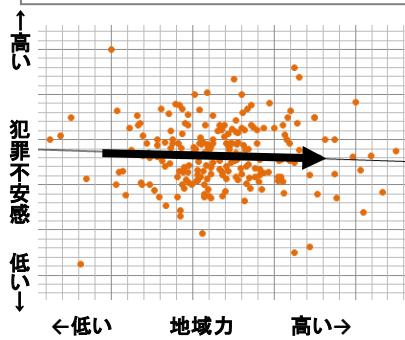
地域力が高いほど、
子育てがしやすくなる



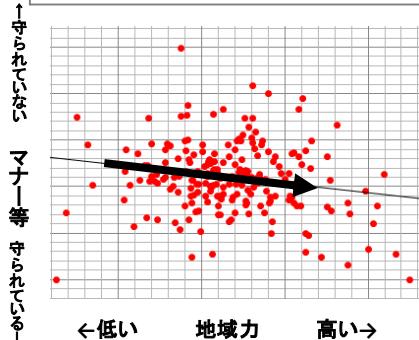
地域力が高いほど、
PTA活動が盛ん



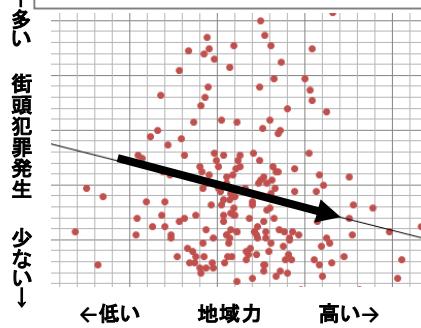
地域力が高いほど、
犯罪への不安感が低くなる



地域力が高いほど、社会生活のマナーが守られている



地域力が高いほど、街頭犯罪（ひったくり、自販機ねらい等）の発生が少ない



立木茂雄地域コミュニティ活性化推進審議会会長（同志社大学社会学部教授）
の分析によると、

- ①地域ぐるみの取組が活発になると
- ②人と人のかかわりあいが増え（地域力アップ！）
- ③住みやすい、と思える地域になるとともに、ひったくりなどの犯罪が起こりにくくなる、

このような関連性が今回のアンケートでわかりました！

*アンケートの内容と集計結果は次ページをご参照ください。



アンケート集計結果

平成28年度自治会・町内会アンケートの主な項目と集計結果は次のとおりです。

推計加入率

アンケートを基に算出した自治会・町内会の推計加入率は、**68.5%**でした。

＜参考＞

平成26年度 69.8%
平成25年度 69.6%
平成24年度 69.8%

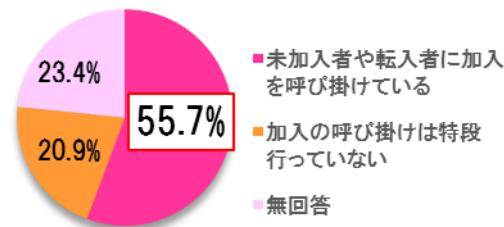
加入の呼び掛け

「未加入者や転入者に加入を呼び掛けている」は**55.7%**でした。

多くの方に加入の呼び掛けをしていただいています。

一方、呼び掛けを待たれている方もまだ相当数おられると考えられます。

加入の呼び掛けの状況



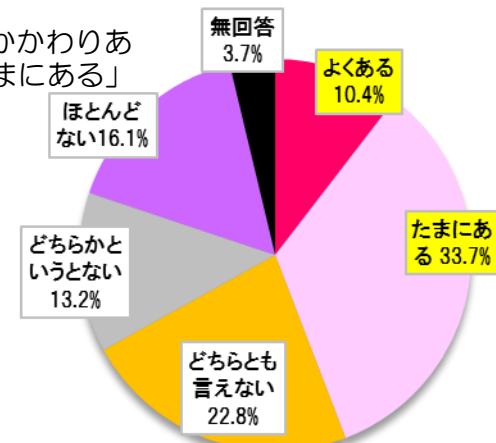
前ページまでの分析は、以下の設問の集計結果をもとにしています。

地域力(住民同士のかかわり合い)

地域力がどの程度あるのかを把握するために「住民同士のかかわり合い」について、お答えいただきました。「よくある」と「たまにある」の合計が**44.1%**でした。

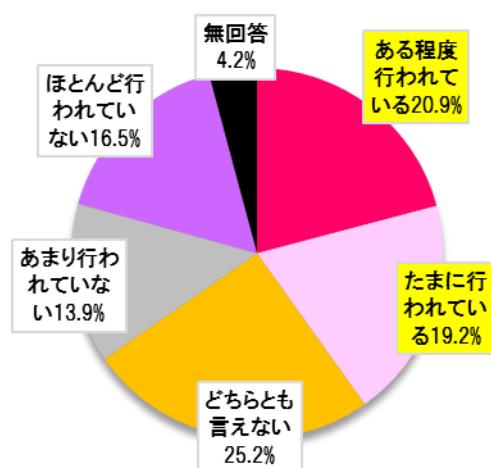
＜主な設問概要＞

- 立ち話をしたり、趣味やスポーツを一緒にする
- 一緒に出かけたり、買い物や食事をする
- お互いの家に遊びに行く
- おすそ分けやおみやげを渡したり貰ったりする
- お節介をやいたり、思いやったりする
- ちょっとしたことで助け合ったり、お互い友達になる



地域活動の状況(学区・元学区における取組)

日ごろから地域で行われている取組の状況(5つのチカラ)について、お答えいただきました。「ある程度行われている」と「たまに行われている」の合計は**40.1%**でした。



※各設問項目の回答割合の平均を示した図

＜主な設問概要＞

- ①地域外の人々に、地域活動に参加するよう促している
- ②地元の多様な組織を、地域活動に巻き込もうとしている
- ③地域課題解決のため、商店街などに参加を呼び掛けている
- ④自治会・町内会の未加入者に、地域活動の声掛けをしている
- ⑤子どもも大人も楽しめる行事をし、住民に参加を促している
- ⑥住民が主体となって、行事を開催するよう促している
- ⑦住民の意見をまとめ、地域活動の方向性を示す努力をしている
- ⑧地域の問題を、広く知ってもらうよう努めている
- ⑨地域の歴史・伝統・特徴を知ってもらう機会を作っている
- ⑩地域の魅力を発信し、住民に知ってもらう機会を作っている
- ⑪近所の人には、自らあいさつするよう心がけている
- ⑫近所同士や子どもが大人とあいさつをするよう促している

- ①～④は「多くのいろいろな住民の参加」
⑤～⑥は「地域イベントの実施」
⑦～⑧は「地域組織の任せでない運営」
⑨～⑩は「まちのお宝の発掘」
⑪～⑫は「あいさつの励行」についてお尋ねしています。

5つの
チカラ！

※各設問項目の回答割合の平均を示した図

住みやすさ

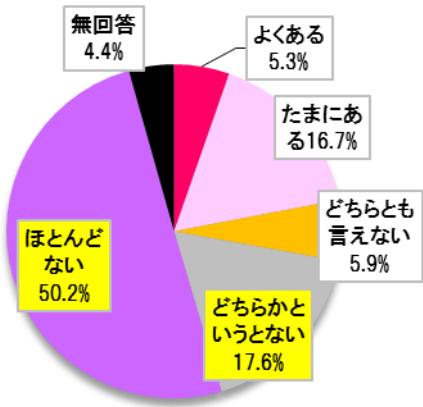
＜社会生活のマナー等＞

地域における「社会生活のマナー等」について、お答えいただきました。「マナー等が守られていないことはほとんどない」と「どちらかというとない」の合計は67.8%でした。

＜主な設問概要＞

- 路上のゴミや壊れたままの街灯がある
- タバコを吸ったり夜中に公園で集まる未成年を見かける
- 交通マナーや住民同士のルールが守られていない

※各グラフ内の数値は各設問項目の回答割合の平均を示しています

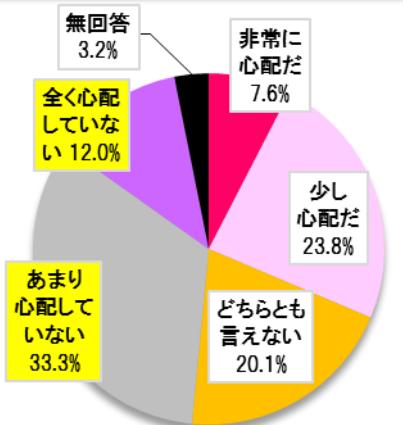


＜安心・安全(犯罪不安感)＞

地域における「安心・安全(犯罪不安感)」について、お答えいただきました。「全く心配していない」と「あまり心配していない」の合計が45.3%でした。

＜主な設問概要＞

- 留守宅に泥棒が入ったり、不審者を見かける
- 道を歩いていて、ひったくりにあう
- 車上ねらいが起こる

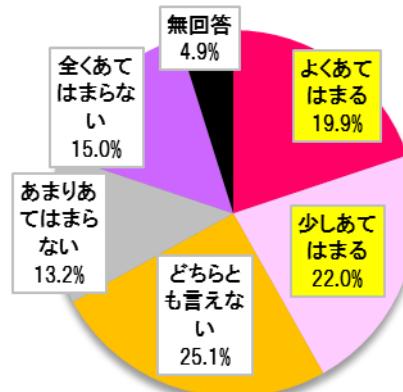


＜子育てのしやすさ・高齢者の住みやすさ＞

地域における「子育てのしやすさ・高齢者の住みやすさ」について、お答えいただきました。「よくあてはまる」と「少しあてはまる」の合計が41.9%でした。

＜主な設問概要＞

- 子どもがよその家で気軽にごはんを食べてくる
- 子どもが夜泣きしても気兼ねなく子育てできる
- 地蔵盆や高齢者向けの活動が盛んである
- 地域の子どもの名前を5人以上言える
- 子どもが地域の高齢者にあいさつをする
- 高齢者の見守りが行われ、高齢者にとって住みやすい
- PTA新聞など地域で回覧している
- 地域とPTAが協力して地域活動を行っている



地域コミュニティサポートセンターのご案内

自治会・町内会の運営や活性化などに関するご相談がありましたら、ぜひご連絡ください。

電話: 222-3098 (皆の輪でくらし安らぐ)

FAX: 222-3042 Eメール: chiikizukuri@city.kyoto.lg.jp

自治会・町内会の活性化のために・・・

▼自治会・町内会等のこのような取組に助成します▼

- 加入を呼びかけるチラシやパンフレット等の作成費
- 加入者と未加入者との交流イベントの経費 など

詳しくは、地域コミュニティサポートセンターまで！

この印刷物が不要になれば
「誰がみ」をして古紙回収等へ！



＜この回覧についてのお問合せ先＞

京都市文化市民局地域自治推進室 (☎ 222-3049)

平成29年11月発行 京都市印刷物第294617号